

■インターネットIR情報

当社は、株主・投資家の皆さまにタイムリーでわかりやすい情報発信を目指し、ホームページの充実をはかるなど、IR活動の向上に取り組んでいます。

キーウェア IR

検索

<https://www.keyware.co.jp/ir/>

■IR情報

■個人投資家の皆さまへ
より深く当社グループをご理解いただくために個人投資家の皆さまへ向けた情報を発信しております。

■決算説明（動画配信）
決算説明の動画を資料とともに配信しております。業績報告や今後の戦略などについてご説明しております。

KEYWARE TIMES

株主通信 Vol.35

第59期 第2四半期(累計)事業報告
2023年4月1日～2023年9月30日

こんなところに、キーウェア | 株式会社オハラ さま
お客さまのモノづくりへのこだわりを
最大限サポート。
ERP導入の知見を活かし業務効率化を実現。

キーウェアソリューションズ 株式会社

〒156-8588 東京都世田谷区上北沢5-37-18

経営企画部 広報IR室

<https://www.keyware.co.jp>



本誌は、FSC®森林認証紙と、植物性インキを使用しています。

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

IT can create it.

キーウェアソリューションズ 株式会社

東証スタンダード市場 3799



中期経営計画「Vision2026」の
取り組みを着実に実行することにより、
企業価値の向上を目指してまいります。

代表取締役社長 三 田 昌 孝

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、2023年3月期より5か年中期経営計画「Vision2026」をスタートし、「基盤事業^{※1}の質的転換」「プライムビジネス^{※2}の拡大」「新領域へのチャレンジ」の3つの基本方針のもと、事業拡大と高収益化の実現に向けて取り組んでおります。

5か年中期経営計画「Vision2026」の2年目となる当連結会計年度は、「基盤事業の質的転換」に向けて、引き続きプロダクトやクラウドサービスなどの活用拡大や、2021年に資本業務提携を締結した3社（株式会社JR東日本情報システム、兼松エレクトロニクス株式会社、キャノンマーケティングジャパン株式会社）との連携の強化、請負案件の拡大、不採算案件の抑制などの取り組みを進めました。「プライムビジネスの拡大」に向けては、デジタルトランスフォーメーション（DX）の実現に向けた需要を取り込むべく、基幹システム刷新やデジタル化支援などの提案活動を推進したほか、業務プロセスの改善や最適なソリューションを提案できるコンサルタントの育成に取り組みしました。「新領域へのチャレンジ」に向けては、昨今、対策の重要性が高まっているサイバーセキュリティ領域や、今後拡大が見込まれるデジタル金融領域などにおいて、事業機会の創出に向けた取り組みを進めております。

こうした取り組みの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は10,293百万円（前年同期比548百万円増、5.6%増）、売上高は9,459百万円（同

484百万円増、5.4%増）、営業利益は143百万円（同124百万円増、641.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は233百万円（同59百万円増、34.0%増）となりました。

本年3月に東京証券取引所から要請がありました「資本コストや株価を意識した経営」の実現に向けて、当社グループでは中期経営計画「Vision2026」の取り組みを着実に実行することにより、資本コストを上回る資本収益性の達成を目指していく方針です。また、業績に応じ配当性向を段階的に引き上げていくことで、株主還元強化をはかってまいります。具体的な目標として、2027年3月期にROE 10.0%、ROIC 8.0%、配当性向 35.0%を設定しました。目標達成に向けてグループ一丸となって取り組むことで企業価値の向上を目指してまいります。

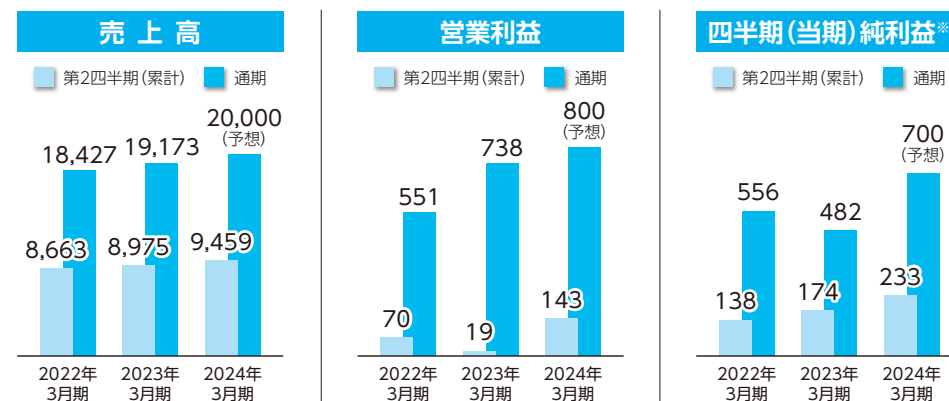
株主・投資家の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※1 当社グループの売上高の大部分を占めるシステム開発事業とSI事業を、基盤事業と位置付けています。

※2 当社グループでは、お客さまと直接契約を結びサービスやソリューションを提供する事業を「プライムビジネス」と称しております。

連結業績ハイライト

（単位：百万円、単位未満切り捨て）



※親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益を記載しています。

▶ 連結業績に関して、より詳細な情報を決算説明動画で配信しています。裏表紙に記載のQRコードからご覧ください。



こんなところに、キーウェア

Special Contents

**お客さまのモノづくりへのこだわりを最大限サポート。
ERP導入の知見を活かし業務効率化を実現。**



株式会社オハラ

所在地: 神奈川県相模原市中央区小山1-15-30
売上高: 283億4百万円 (2022年10月期)
従業員数: 連結1,505名 (単体478名)
(2022年10月31日時点)

1969年、人類初の有人月面着陸に成功したアポロ11号の月着陸船に搭載された観測装置に日本製のガラス製品が採用されたことを皆さんはご存じでしょうか？ 株式会社オハラ（以下、オハラ）さまはこの観測装置に搭載された日本初の光学ガラス専門メーカーです。創業以来、光学ガラス産業のパイオニアとして、カメラ、医療、半導体から宇宙天文まで幅広い領域でガラス素材を提供し、光学産業の発展に貢献されてきました。

歴史に裏打ちされた技術力を誇る同社では、何万種にもわたる光学ガラス製品の原材料仕入れ・生産管理・品質管理・販売管理までの全てをシステムで管理されてきました。旧システムの老朽化に伴い、当社は、国内外の製造業で多くの導入実績があり、複雑な生産工程にも対応できるERP^{*1}パッケージ「IFS Applications^{*2}」（以下、IFS）の導入をご提案しました。

導入にあたって当社は、オハラさまが抱える課題や現場のニーズを丁寧にヒアリング。IFSの製造業向け標準機能を最大限に活用いただけるよう、従来の業務プロセスを機能にあわせて見直すことをご提案した一方で、光学ガラスの製造過程では細かな数値管理が必要とされるため、標準機能で対応が難しい部分は追加で機能を開発することとしました。光学ガラスの製造工程には、規定性能を満たすための特殊な調合計算や、光の屈折率や透過率など多数の品質管理項目に対する判定など、

※1 ERP: Enterprise Resource Planningの略。企業のヒト・モノ・カネ・情報といった経営資源を統合的に管理し、受注・販売管理、在庫管理、生産管理、会計といった企業の基幹業務をサポートする統合型ソフトウェアパッケージ

※2 IFS Applications: スウェーデンのソフトウェア会社であるIFS社の主に製造業向けの業務を統括管理できる統合型ソフトウェア

IFSが持つ標準機能だけでは処理できない業務が数多くあります。これらの特殊な業務については、当社のエンジニアが現場のご担当者から具体的な作業の方法や目的などをお聞きし、現場のご担当者さまや情報システム課の皆さまと工夫や試行錯誤を行いながら、IFSの外側にシステムを構築しました。

導入後は、蓄積したデータの一元管理が実現したことにより、従来は情報システム課が各部署のニーズに応じ提供していたさまざまなデータを各部署でリアルタイムに抽出することが可能になるなど、多くの現場で大幅に業務効率化を実現されました。また、品質管理などの特殊な管理機能は、IFSの外側に開発したことで拡張しやすくなり、現場からの要望に応じてオハラさまの社内で機能追加を行うなど、スピーディに業務改善を実施されています。

今回の導入では、当社がお客さまの事業内容を深く理解し、現場の声に耳を傾け一つ一つの機能を実現した点とIFSの機能を十分に理解したスペシャリストの立場から、ご要望の一步先を行くご提案ができた点を高く評価していただきました。

オハラさまは今後、国内外各拠点へIFSの導入展開を進めて、グローバルに生産販売管理の仕組みを整えていくことで、グループ全体の調達・生産・販売機能の資産効率を高めつつ、経営スピードの向上を目指されます。当社は引き続き、オハラさまの企業価値向上に貢献すべくご支援を続けてまいります。



株式会社オハラさまからのひとこと

当社は光学ガラス、キーウェアさんはシステム開発、それぞれ扱う「モノ」は違いますが、モノづくりに対するこだわりを持った両社が、システムを導入する側と支援する側の垣根を越え、まるでファミリーのようにシステム刷新に取り組んだことで、約3年にわたる大きなプロジェクトを成功に導くことができたと思っています。今後も支援をお願いします。

>>> Brand-New Business

■「乗務前確認サービス Powered by LifeRoute」を提供開始

道路交通法施行規則改正により、アルコール検知器による酒気帯び確認の義務化対象事業者が拡大されました。この改正に対応し、当社は「乗務前確認サービス Powered by LifeRoute」を提供開始しました。本サービスは、ドライバーが乗務前に行うアルコール確認業務の確実な実施と業務効率化に寄与します。また、充実した健康管理機能により、健康起因の事故予防に有効な血圧や体温などの継続的な管理を支援します。当社は今後も、社会課題解決に寄与するサービスの提供に取り組んでまいります。



>>> Partnership

■優れたセールスパートナーとして提携先3社より表彰

当社は、株式会社NTTデータ・ビジネスインテグラル、株式会社NTTデータ イントラマート、キャノンITソリューションズ株式会社の3社より、2022年度に高い功績を残したパートナー企業であるとして表彰されました。今後も各社との連携を深め、豊富な経験と高い提案力を活かして、お客さまの発展に貢献してまいります。



受賞実績

- Biz Partner AWARD 2023 [Excellent Award]
(株式会社NTTデータ・ビジネスインテグラル)
- Intra-mart Award 2023 [Special Project Award]
(株式会社NTTデータ イントラマート)
- WebPerformer パートナーアワード 2023 [DX推進アワード]
(キャノンITソリューションズ株式会社)

>>> IT Event

■静岡と四国でDX推進をテーマとしたセミナーへ登壇

当社は、デジタルトランスフォーメーション (DX) で地方創生を加速「SHIZUOKA DX WORLD 2023」(6月開催)と「SHIKOKU DX WORLD 2023」(9月開催)に参加し、当社首席エバンジェリスト佐藤 貴憲がノーコードを活用したDX推進をテーマに講演を行いました。本イベントへの参加は、東北に続き3回目となりました。今後もDX推進による地方活性化の取り組みに貢献してまいります。



SHIKOKU DX WORLDにて
サイボウズ株式会社 久保 正明氏 (左)
と対談する佐藤 貴憲 (右)

サステナビリティ活動 「キーウェア・ファミリーデー」を開催

2023年8月、社員のご家族の皆さんを本社に迎え、「キーウェア・ファミリーデー」を開催しました。新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催となった今年は、7家族(4歳～8歳のお子さん10名)が参加し、お仕事体験を通じてお父さんやお母さんの同僚、上司らと交流しました。当社では会社・社員・社員の家族がそれぞれの相互理解を深めることを目的とし、このようなイベントを企画しています。今後も家族と仕事の両方を大切にできる働きやすい職場環境づくりを推進してまいります。



📖「サステナビリティレポート2023 (旧CSR報告書)」を発行

当社グループのサステナビリティへの取り組みについて、ステークホルダーの皆さまにわかりやすくご報告することを目的として、「サステナビリティレポート」を発行しています。当社ホームページにてぜひご覧ください。

▶ <https://www.keyware.co.jp/about/csr/report-index.html>



第2四半期(累計)連結財務諸表(要約)

単位：百万円、単位未満切り捨て

Financial Data

四半期連結貸借対照表

	前 期 2023年 3月31日現在	当第2四半期 2023年 9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	7,368	7,371
固定資産	3,784	3,921
有形固定資産	100	97
無形固定資産	487	471
投資その他の資産	3,196	3,352
資産合計	11,153	11,293
(負債の部)		
流動負債	3,015	2,945
固定負債	330	381
負債合計	3,345	3,327
(純資産の部)		
株主資本	7,760	7,901
その他の 包括利益累計額	47	64
純資産合計	7,807	7,966
負債純資産合計	11,153	11,293

POINT 資産の部

売掛金の減少はありましたが、現金及び預金、契約資産、投資有価証券の増加などにより、前期末比140百万円増加の11,293百万円となりました。

POINT 負債の部

短期借入金の増加はありましたが、買掛金、未払法人税等の減少などにより、前期末比17百万円減少の3,327百万円となりました。

POINT 純資産の部

利益剰余金の増加などにより、前期末比158百万円増加の7,966百万円となりました。その結果、当第2四半期末の自己資本比率は、70.5%となりました。

四半期連結損益計算書

	前第2四半期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	当第2四半期 2023年4月1日から 2023年9月30日まで
売上高	8,975	9,459
売上原価	7,643	7,854
売上総利益	1,332	1,605
販売費及び一般管理費	1,312	1,461
営業利益	19	143
経常利益	170	332
親会社株主に帰属する 四半期純利益	174	233

POINT 売上高

キーウェア東北の事業開始による増加に加え、公共系の大型案件の進捗などにより、前年同期比484百万円増加の9,459百万円となりました。

POINT 営業利益

売上高の増加、不採算案件の収束などにより、前年同期比124百万円増加の143百万円となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	当第2四半期 2023年4月1日から 2023年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	386	168
投資活動による キャッシュ・フロー	△35	△34
財務活動による キャッシュ・フロー	△224	200
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	125	335
現金及び現金同等物の 期首残高	910	1,038
現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,036	1,373

POINT 連結キャッシュ・フロー

営業CFは、税金等調整前四半期純利益の計上、売掛金の回収などにより168百万円のプラス。投資CFは、無形固定資産の取得などにより34百万円のマイナス、財務CFは、短期借入金の純増などにより200百万円のプラスとなりました。その結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、前期末比335百万円増加の1,373百万円となりました。

株式情報

(2023年9月30日現在)

Stock Information

株式情報

- 発行可能株式総数
..... 36,440,000株
- 発行済株式総数
..... 9,110,000株
- 株主数
..... 3,817名
- 主要法人株主
株式会社 H B A
株式会社 J R 東日本情報システム
兼松エレクトロニクス株式会社
キャノンマーケティングジャパン株式会社
住友生命保険相互会社
株式会社三井住友銀行

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会、期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
【郵便物送付先】	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
【電話照会先】	(フリーダイヤル)0120-782-031
【インターネット ホームページ URL】	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告掲載方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事 故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載 する方法により行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場

株式に関する手続き

- 住所変更などのお届け出およびご照会について
お取引の証券会社にお問い合わせください。証券会社の口座のご利用がない株主さまは上記の三井住友信託銀行の電話照会先にお問い合わせください。
- 未払配当金のお支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行にお申し出ください。

会社概要

(2023年9月30日現在)

Corporate Data

会社概要

商 号	キーウェアソリューションズ株式会社
所 在 地	〒156-8588 東京都世田谷区上北沢5-37-18
創 立	1965年5月
資 本 金	17億37百万円
売 上	191億73百万円(2023年3月期・連結)
従 業 員 数	1,262名(2023年3月31日現在・連結)
取得認証・認定	品質マネジメントシステム登録事業者 プライバシーマーク使用許諾事業者 情報セキュリティマネジメントシステム登録事業者 環境マネジメントシステム登録事業者 子育てサポート企業 くるみん認定 健康経営優良法人認定制度(大規模法人部門)認定

役員

代表取締役社長	み た まさ ひろ 三 田 昌 弘	監 査 役	さわ だ のぶ ゆき 澤 田 伸 行
取 締 役	あら かわ しん いち 荒 河 信 一	監 査 役	うしろ ね けい じ 後 根 桂 二
取 締 役	お がわ とし かず 小 川 俊 一	社 外 監 査 役	たき た ひろし 瀧 田 博
取 締 役	さい とう いく お 斉 藤 郁 夫	社 外 監 査 役	おお た けん いち 大 田 研 一
取 締 役	か とう てつ ろう 加 藤 徹 郎	※取締役 岡田 勝利、野田 万起子およびステファン グスタフソンは、会社法第2条第15号に定める社 外取締役です。	
取 締 役	すえ つな たく や 末 綱 琢 也		
社 外 取 締 役	おか だ かつ とし 岡 田 勝 利	※監査役 瀧田 博および大田 研一は、会社法第2条 第16号に定める社外監査役です。	
社 外 取 締 役	の だ ま き こ 野 田 万起子	※取締役 岡田 勝利、野田 万起子、ステファン グス タフソンおよび監査役 瀧田 博、大田 研一は、東京 証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益 相反が生じるおそれのない独立役員です。	
社 外 取 締 役	ステファン グスタフソン		